

御幸森小学校・中川小学校 学校適正配置検討会議（第4回） 会議録

1 日 時 令和2年10月7日（水） 午後6時30分から

2 場 所 大阪市立中川小学校 多目的室

3 出席者

（委員）

足立 須香委員、上堀内 佳朗委員、川瀬 邦彦委員、菱田 享宏委員、藤原 智代委員、古田 邦一委員、安田 宜哲委員、吉田 久恵委員

（学校）

上田 健二（大池中学校長）、高尾 祐彦（御幸森小学校長）、柿野 久（中川小学校長）

（教育委員会事務局）

山口 照美（生野区長兼生野区担当教育次長）、櫻井 大輔（生野区副区長兼生野区教育担当部長）、花月 良祐（教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）、樋口 義雄（総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長）、大川 博史（生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）、三宅 俊之（総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理）、川楠 政宏（生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課生野区教育担当課長代理）、竹口 一吉（学事課担当係長）、竹中 一郎（生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長）、西川 明宏（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教育政策課係員）

（傍聴）9名

4 議題

（1）校歌について

（2）標準服等について

5 議事要旨

（1）行政からの説明

【校歌について】

（説明者：花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）

- ・議事資料1に沿って説明を行った。
- ・前回の御幸森小学校・中川小学校 学校適正配置検討会議（以下、検討会議）で、絞り込んだ3案の歌詞に対して、教員の意見や感想があった方が良いというご意見をいただいたことから、議事資料1のとおり教員の意見、感想をまとめた。

（説明者：柿野中川小学校長）

- ・中川小学校では、フリーに意見を出すということで、いいと思ったところや、もう少し求めたいところ等をフラットに見て、自由記述の方で意見を集めた。

言葉については各々の見方のイメージになるが、検討会議で議論されたことと重なっている部分もあった。

（説明者：高尾御幸森小学校長）

- ・選ばれた3つの歌詞案を尊重する方向で、どうしてもここが気になるという観点で意見を出した。

#### 【標準服等について】

(説明者：花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- ・議事資料2に沿って説明を行った。
- ・前回の検討会議以降、9月3日に保護者の方々を対象として、応募があった標準服等のコンセプトや素材についての事業者説明会を開催した。また、9月4日以降、御幸森小学校、中川小学校にて、順次、標準服等のサンプルを展示したうえ、児童、保護者にアンケートを実施した。本日はアンケート結果を参考に意見交換をしていただき、新しい標準服等について決定したい。

#### 【通学路の安全対策について】

(説明者：三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・報告資料1に沿って説明を行った。
- ・地図上Aの箇所に車止めポストの設置、B、C、Gの箇所にグリーンライン塗装、Gの箇所に「飛び出し注意」の塗装を施工済み。
- ・その他の項目については、詳細が分かり次第、報告を行う。

#### 【新たな学校の教育内容について】

(説明者：柿野中川小学校長、高尾御幸森小学校長)

- ・新たな学校の教育内容について、検討の途中経過の段階として、多文化共生教育の充実、英語学習の充実、学力・体力の向上を中心とした取組みや安全・安心に向けた取組み等について説明を行った。

#### 【ユネスコスクール加盟について】

(説明者：樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

- ・ユネスコスクール加盟について、報告資料2に沿って説明を行った。
- ・ユネスコスクールの取組みについては、大池小に継承し、小中一貫校として申請を行う方向で検討している。
- ・申請前に、チャレンジ期間を最低でも1年間設ける必要があること、申請時期が3月、9月となっていることから、大池小として申請するのであれば、最短のスケジュールは令和4年3月の申請、令和4年度の小中一貫校開校後に申請するのであれば、令和5年9月に申請となり、その場合は令和6年7月の認可が最短となる。

#### 【御幸森小における指定校変更特例適用にかかる結果について】

(説明者：大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・報告資料3に沿って説明を行った。

## (2) 意見等の概要

#### 【校歌について】

(委員)

- ・挙手による採決ではなく、意見交換で決めるのか。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・学校からの意見は本日初めてお示ししているのので、ご覧いただいたうえで、挙手という形をとるかどうかもご意見をいただきたい。

(委員)

- ・個人的には3番が一番わかりやすく良いと思う。子ども達にとってわかりやすい方が、記憶に残りやすく、後々も歌えるものとなるのではないか。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・学校からの意見をご覧いただいて、歌詞案のなかに少し惜しいなと思う部分があるかもしれない。今回、歌詞を変更することもあるという前提で募集を行っているのので、1案に絞ったうえで、気になる箇所については、学校に依頼して歌詞の変更をするという方法もある。

(委員)

- ・学校からの意見を、3案の作者にお渡しして、それを踏まえた作り直しをしてもらう方が理にかなうのではないか。時間的に難しいということであれば、学校で変更した内容を作者に投げかけて確認するということになるだろうが、それであれば、学校からの意見が出た段階で投げかけて調整した方が良いかと思う。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・委員からご意見のあった内容について、スケジュールとしてはどうなるのか。

(竹口学事課担当係長)

- ・スケジュールとしては、来春の開校に向け、児童が練習できる期間をつくれるか、作曲に時間を確保できるかということとの兼ね合いとなる。募集にあたり、応募作品から選ぶという前提になっているので、もう一度応募し直すというイメージになることに懸念はある。

(委員)

- ・歌詞案に良いところ、悪いところがあるので、絞り込みを行い、作曲する学校長にフレーズを考えていただくことはできないか。

(委員)

- ・教員全員が同じ意見というわけではないだろう。一度、作者に返すことも今のスケジュールでは考えにくいことだ。まずは1案に絞り、決まった歌詞への微修正を作者と調整する方が、返ってきた答えも活きるのではないか。どのみち、今の3案から決めることになるならば、今日、大体を決めてしまい、作者と学校長で微調整をした方が良いのではないか。

(委員)

- ・3番にはメロディーにすることが難しそうな部分があるという意見だが、その点で初めに案として消えるということはないか。

(柿野中川小学校長)

- ・詞として考えると、例えば、「何々して、何々して」で終わるのは難しいとは思いますが、基本的には話し言葉に抑揚をつけるものが歌になるので、このようなものも斬新だと思う。他にはないということで、印象としてはすごく強くなると思う。

(委員)

- ・作る立場にたてば、この案もいいように思える。

(委員)

- ・案として消さない方がいいということか。

(柿野中川小学校長)

- ・委員で最終的に決めていただくものと思う。主観は言わないようにするが、長いものではあるので、児童が覚えられるかという点は気になる。

(委員)

- ・この案は長い。そのような点も踏まえて、もう決めてしまった方がいいのではないか。

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・委員のご意見のとおり、挙手により決めるということで良いか。

[委員からの異議なし]

[委員による挙手の結果、1番の歌詞が2票、2番の歌詞が0票、3番の歌詞が6票の支持を得た。]

- ・3番の歌詞が多数の支持を得たので、3番の歌詞をベースに作曲を行うこととする。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・作曲を行うなかで、柿野校長の負担を軽くするという面からも、曲調と合わせにくい部分があれば、若干のアレンジを行うことについてご理解をいただきたい。

[委員からの異議なし]

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・作曲の目途は1月頃と考えて良いか。

(柿野中川小学校長)

- ・修正も必要かと思われるので、年内を目標としたい。3学期に練習を行うことも考えると年内いっぱいまで時間をいただくとありがたい。

**【標準服について】**

(委員)

- ・標準服についても、帽子についても、アンケート結果が両校で分かれてしまった。まだ、時間があるならば、標準服等のプレゼンテーションの際に集まった両校の保護者でもう一度話し合う機会をもってはどうかと思う。

(委員)

- ・両校で逆の結果になっている。

(委員)

- ・条件が揃っていなかったのではないか。

(委員)

- ・プレゼンテーションの際に菱田委員から「2番の事業者が提案した上下ともに紺色の標準服は、現在の中川小学校の標準服と同じ色構成になっているので、外してほしい」という念押しをしていたはずなのに、アンケートにはそのモデルが入っていた。私たちの話を理解いただけていないのではないか。

(委員)

- ・標準服の素材やオプションの部分についての説明内容がアンケートに反映されていなかった。例えば、保険がきくことや、災害時に失われた場合に新たな標準服を無償でいただけ

ること、サイズ面や生地の情報全然出ていなかったと思う。プレゼンテーションに来なかった方はその情報を知らなかったという話はよく聞いたので、「この標準服にはこんなオプションがある」という内容をもっと皆さんがわかりやすいように展示しなければならなかった。

- ・今すぐ決めるよりも、もう一度、どんなオプションがあるかはっきり示した方が良いと思う。もう一回アンケートをとるといふより、そういった情報がきちんと伝わっているかの確認のようなことをしてはどうか。

(委員)

- ・具体的にはどのようなことか。

(委員)

- ・アンケートを子どもが持って帰ってきた時に、簡易的に考えて、子どもにどっちがいかを聞くだけの人もいるのではないか。
- ・自校の現在の標準服と比較して選ぶ方もいるだろうから、アンケート結果を学校別の比率で見ている限りは、御幸森小学校の保護者が2番目の事業者を選ぶ比率と、中川小学校の保護者が1番の事業者を選ぶ比率は、何度繰り返してもずっと変わらないと思う。こちらの学校では何人、比率何%ではなくて、全部の合計人数の比率で考えた方がよいのではないか。

(委員)

- ・両校で児童数が大きく違うので、各校の割合で結果を出してほしいと私がお願いしていた。

(委員)

- ・両校で意見が全く逆になっているので、折り合いをどうつけるか。

(委員)

- ・とにかく、もう一度、両校で話し合いを行ってはどうか。PTAとして時間はあるのか。

(委員)

- ・PTA同士で話し合いをする機会があれば、これまでの経過も踏まえて、返答をすることはできる。

(委員)

- ・そうした方が良い。

(委員)

- ・しかし、そうすれば、この場の意味がなくなってしまうかもしれない。PTAで決めてくれと言われた方が早い。

(委員)

- ・アンケート結果で事業者間に差がついていればわかりやすいが、結果としては分かれることとなってしまった。

(委員)

- ・だから、もう一度、両PTAで話し合ってください。

(委員)

- ・きちんと保護者に伝わっていない情報も保護者に伝えきったところで、また話をすれば良いと思う。

(委員)

- ・決まったときに、決まった理由を示せばよいと思う。

(委員)

- ・PTA のなかだけでも理解を深めておきたい。

(委員)

- ・両校の PTA が集まり、一緒に相談して決めれば良いと思う。

(委員)

- ・期日は急ぐのか。

(花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- ・できれば、期限としては来週中には決めたい。PTA から検討会議に出られている委員の方を中心に、これまでも意見交換をいただいた PTA の方もご参加いただいて、意見交換を行い、それで決定とするか、その後、また検討会議を開催し決定するということになる。

(委員)

- ・両 PTA の要望を聞いていただき、子ども達にとってかわいらしくて丈夫なものということで決めていただいたら、我々が口をはさむことではないと思う。

(委員)

- ・PTA で話し合い、その結果を行政に伝えるということでよいか。

(委員)

- ・それでよい。

(委員)

- ・それでよい。早いから。

(委員)

- ・中川小学校としては、PTA 役員に投げかけたところ、アンケート結果を踏まえ、全員決まった結果に従おうという意見をいただいている。もう一度、持ち帰り、両校 PTA で話をするという事は、中川小学校としても問題はないと思う。

(委員)

- ・その PTA の意見交換の結果を、検討会議の決定としてもらったら良い。また検討会議として、集まって決めることとするのか。

(委員)

- ・そうすれば、改めての検討会議を開かなくても良い。

(花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- ・そうすれば、この検討会議における標準服等の決定については、それぞれの PTA の方々のご意見をもって決定するという事でよいか。

[委員からの異議なし]

(委員)

- ・来週とはいつまでのことか。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・前回、これまでに両 PTA の方々にお集まりいただいた際のご意見をまとめきれていなかったということに、まず、おわび申し上げる。

今回、委員よりご発言のあった、両校のアンケート結果の割合が分かれているという点、オプションの説明が足りてないという点や、それまでにご意見いただいていた点も含めて、両 PTA の方を中心に御議論いただく。その結果、決まった内容を、こんなオプションがあるので、この形になったというような説明ができるよう、整理を行い進めていきたい。

- ・日程については再度きっちりと確認し、早急に検討会議委員としてご出席の PTA 代表の方に、まず、明日、明後日にはご連絡差し上げて日程調整させていただきたい。

#### 【通学路の安全対策について】

(委員)

- ・路上に「通学路」等を書くことはできないか。

(委員)

- ・スクールゾーンのこと。

(委員)

- ・特に御幸森小学校から中川小学校に行く新しい通学路に、「通学路」や「スクールゾーン」を2箇所程度に書けないか。

(花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- ・ご意見をいただき、建設局と調整したい。

(委員)

- ・報告資料1ではCとなっている、一条通から右折する箇所になる。

(委員)

- ・すでに「スクールゾーン」表記はあるが、文字がはげている。

(委員)

- ・あとは、E となっている、川沿いから曲がってくる箇所は左右両側から車が入れるので、橋を渡ってすぐのところに表記をほしい。

(委員)

- ・寺のところか。

(委員)

- ・角の寺のところ。

(委員)

- ・横にグリーンラインが引かれているが、暗い時間に雨が降っているときはライトの反射もありラインが見えない。道の真ん中に何かを書いた方が良い。

(委員)

- ・ここから「スクールゾーン」と表記するということか。

(委員)

- ・文字がはげるのは仕方ないが、通学路である周知は行っていくべきだと思う。

(委員)

- ・4月から子どもが通うのだから。

(委員)

- ・最低でも1年以上は文字もはげないと思うので、ここが「スクールゾーン」だとわかるようにしてほしい。商店街が近く、観光客も多いので、地理不案内な車も入ってくる場所と

なっている。

(委員)

- ・御幸通りも同じ。一步通行を逆に車が来るので、子ども達への危険を考えると、それぐらい出しておいた方がいいと思う。

(委員)

- ・今里筋まで抜けられる道となっているので使いやすいが、狭い道なので、「スクールゾーン」というメッセージを強く出してほしい。これはお願いというよりは、必ずしてほしい項目と思っている。

(委員)

- ・安全のためにはそれはしてほしい。

(花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- ・いただいたご意見について、建設局と調整し実施してまいりたい。また、「スクールゾーン」以外でも代替案があればそちらのほうで実施していきたい。他の部分についても、できるかできないかも含めてご報告等させていただきたい。

(委員)

- ・Bの箇所の道路に舗装しているグリーンラインは片側だけになっているが、それで良いのか。

(委員)

- ・Aの箇所も片側だけになっている。

(花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- ・建設局とも調整し、両側に塗装できる箇所は両側に塗装している。

(委員)

- ・片側だけというのは、何か事情があるということか。

(花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- ・建設局と確認し、報告させていただく。

(竹口学事課担当係長)

- ・中川小学校区の箇所も一緒に建設局と見てもらおうと考えている。現在の通学路入っていると、できるだけグリーンラインをひけるように調整していきたい。

(委員)

- ・いろいろと見てもらった方が良い。歩道橋の塗り替えは済んでいるのか。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・絵画シートの関係か。

(委員)

- ・それではなく、塗り替えの方について。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・今年度に点検を行い、それから検討を行うこととなっており、点検はこの秋以降となると聞いている。ご意見が出ていた「スクールゾーン」について、大阪市では新たに設置しないという情報を聞いているが、こちらと併せて確認を行う。
- ・通学路の安全対策については、検討会議だけではなく、検討会議終了後や新校開校後につ



いても対策をとっていく必要があるので、ご意見は随時、いつでもいただきたい。

(委員)

- ・開校してからも聞いてくれるということで。

(委員)

- ・実際に開校して、子ども達が歩いてみないとわからない部分もあると思う。

(委員)

- ・子どもの目線で考えないといけない。

(委員)

- ・その通り。絶対に意見は出ると思う。

(委員)

- ・町会や、御幸森小学校区で一番主になっている C、D、E の道路沿いの世帯等には、ここが通学路になるということを早期から徹底してお知らせして、家の前に置いているものをよけてもらうようにしたい。通学路になることを意識してもらうため、回覧板等でここが通学路になりますというのを具体的に何回も繰り返してお知らせしていきたいと思う。私たちだけでなく行政で、呼びかけ文や、回覧を作ってもらえたら、早い時期から回したい。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・こういった形で周知をご協力いただけるか考えてみたい。区としてどのような形の内容にするかは、学校長とも相談するが、令和3年3月の広報紙に通学の安全に関する特集ページを組むことを考えている。そこに新しい通学路を載せることが良いのかどうかも含めて、学校長と調整し、開校前に周知する方法も考えているので、紹介できるようになればさせていただく。

(委員)

- ・通学路の歩道のために道に白線を引いているが、それを自転車置き場と誤解し、自転車が置いてあるという現実がある。常に歩道であることを発信しておかないと、その線が自転車をとめていいというラインに変わってしまっている。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・自転車の件は、H の箇所となるところか。

(委員)

- ・一番ひどい箇所がそこだ。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・コリアタウンと一条通りの交差している箇所については、ご意見をいただいている部分で、現在でも駐輪がなくなっていないのが実情となっている。しかし、随時、建設局、区役所にて注意喚起を行っていつている。

#### 【新たな学校の教育内容について】

(委員)

- ・周囲から、大池小学校の学校長が誰になるのかという質問をよく受ける。誰になるのか早く知りたい。
- ・教職員の人事についても、我々の意見が反映されることはないのか。保護者としては、子どものメンタル面が心配になる。スクールカウンセラーが配置されるということだが、子

どもにとっても相談しやすい相手と相談しにくい相手があると思う。国際クラブについても、地域学習の充実を打ち出すならば、指導員も慣れた方が良いと思う。

(花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- ・教職員人事は大阪市全体の人事の中の動きとなり、学校長の意見を参考に担当が人事異動、配置を行っていくこととなる。教職員人事について、学校長の意見をしっかりと聞いてもらうよう、担当部署に伝えてまいりたい。

(委員)

- ・学校再編自体が頻繁にあることではない。今回だけでも、特例ということで配慮いただきたいと強く思う。

(花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- ・過去の事例においても、保護者の不安な思いも考慮し、より良い学校運営、学校教育を行っていただけるよう、人員配置を行っているところである。

(委員)

- ・もう少し、我々の意見が通るようにしてほしい。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・桃谷中学校の事例でもそうだが、各教職員の異動年限や本人の意思があるので、そういったものと学校長の意見を総合して、良い形になるようにすることと、教員加配により人的に厚くすることは、特例的に行っている。
- ・人員体制を早く決めてほしいということは、我々としても担当部署に伝えているところであるが、大阪市としてのルールを崩せない部分もある。いただいたご意見を受け、まずは現状の両校の人員体制等も踏まえ、どんな形がとれるのか考えたい。

(委員)

- ・誰を担任にしてほしいという話ではなく、この教職員に学校に残ってもらえると保護者として安心感があるという意味で、それは数字に表れない気持ちの部分になるので、親子ともリラックスして心穏やかに学校生活を送れるよう、くみ取ってほしい。

(委員)

- ・特に御幸森小学校の場合は、人数が少ないところから多いところに来るので、メンタル面でも以前から慣れ親しんだ教職員が身近にいてくれた方が良いということだと思う。
- ・教員加配をはじめ、今回特別にいろいろとやるということだが、その「いろいろ」の中身が具体的に見えていない。教職員の人事等、難しい面もあるとは思うが、オープンにしても良い部分については、丁寧に教えてほしい。また、先日の標準服等選定にかかるプレゼンテーション実施といった個別の動きについても、共有したいので、全体に情報を伝えるようにしてほしい。

(委員)

- ・1学級の人数は何人で想定しているか。

(花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- ・大阪市では、小学1、2年生が35人学級、小学3年生以上が40人学級となっている。
- ・ご質問は、再編後の見込みということか。

(委員)

- ・再編後の見込みを聞きたい。

(花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- ・令和2年度当初時点の両校の各学年を足した人数であれば、1年生が57名、2年生が49名、3年生が69名、4年生が74名、5年生が59名、6年生が61名となり、時期により変わる可能性もあるが、各学年2学級という見込みになっている。

(委員)

- ・1学級あたりの人数となれば、2で割った人数になるということか。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・2で割った人数となる。

(委員)

- ・多くないか。行き届きにくくなるのではないか。

(樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

- ・学級編制上の基準が3年生以上は40人となっており、40人は大丈夫という国の判断である。それに則り私もやってきたが、20人程度の学級と40人近い学級とでは、当然、40人近い学級は多いなと思うが、それにより生じる支障や大きな差はなく、学校の運営上、例えば、加配の教員を児童が多い学年に回す等、できるだけ個々に子ども達の状況をつかむ努力をしている。確かに、現状の御幸森小学校の児童数からは多いが、その分、逆に多様な考え方に触れる機会が増えることや、学年という集団になったときに今までできなかったグループでの取組みができると捉えていただければと思う。

(委員)

- ・学力的な違いはないのか。

(樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

- ・大阪市全体の平均では、1学級の児童数の違いによって生まれる差は1点程度となっており、ほぼ差とは言えない程度の違いとなっている。

(委員)

- ・市平均が低いので、そこだけに注目してはいけないのではないか。学力のある地域や都道府県にも目を向けてほしい。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・効果があると言われている習熟度別授業により、少人数の指導を大阪市でも取り組んでいるので、まずはそれをしっかりとやるのが考えられる。学校長の判断になる部分だが、国語、算数、英語等の学習は少人数に分けて行いながら、体育等の人数が多い方が良い学習は合同で行うということが出来る利点があると思う。教育効果を最大限に高められるよう、区としてもしっかり支援をしていこうと考えている。

(委員)

- ・他の自治体や海外の事例も含め、視野を広げて、結果が出ているものは採り入れていってほしい。

(樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

- ・他の自治体の先進的な取組みと、大阪市が築いてきたものの双方に良いところがあるという認識であり、良いところ取りして、より良い学校づくりをしていきたい。

(委員)

- ・御幸森小学校としては、児童数が少ないから多くしたいのではなく、少なくてもよかった。児童数が少なくてもすごく良い学校だから、別に再編をする必要がないという論議を乗り越えてきたので、数ではないが、学校長や区長が示した内容が具現化できるための教職員の人数が必要だと思うのでつけてほしい。
- ・当初の数年間、学力よりも御幸森小学校の子ども達のメンタルが重要だと思う。毎日学校に行くハードルが高まることに不安を感じている方が多いので、教員加配が付くことに安心はあるが、特に配慮していただきたい。

(3) 確認事項等

- ・新たな学校の校歌（歌詞）については、議事資料1の3番の歌詞に決定し、作曲に合わせて修正を行うことも可能とする。
- ・標準服等については、今後の両校PTAによる意見交換結果に委ねることとする。
- ・次回の検討会議の開催日については、別途調整とする。

6 会議資料

- ・議事資料1 校歌（歌詞）について
- ・議事資料2 標準服等について
- ・報告資料1 通学路安全対策について
- ・報告資料2-1 ユネスコスクール加盟の在り方の見直し議論が必要となる理由
- ・報告資料2-2 ユネスコスクール加盟申請～承認まで
- ・報告資料3 御幸森小学校における指定校変更基準（通学距離の長さ）特例適用の希望申出結果